

街かどの話題 154

国選無形民俗文化財 両島お八日念仏

2月11日、鎌田地区公民館と両島公民館で、両島町会とお八日念仏が行われました。国の文化財として登録されている行事が、身近にあることを知ってもらい、ふれてもらおうと、井口幸信保存会会長がPTAと小学生に声をかけ、今年も草履づくりに参加してもらいました。

「自分が住む町の文化を知り、体験できて面白かった」「作るのが意外と難しかった」「大きなものが短時間でできあがっていく姿が印象的だった」「力のいれ加減が難しかった」と、小学生、PTAの方それぞれに感想を話していました。厄除けや無病息災への祈りの行事であることを知ると、昔から今にうけつがれてきた命



もっとしめて、ギュッとねじって

小学生は自分の回す数珠に見立てた藁縄作りもしました。また、できあがった足半草履を、両島公民館に飾り、念仏を唱えながら数珠を回し、両島町会の南北の外れに飾るまで一緒にやりました。



鎌田地区
令和6年3月1日現在
総人口 20,003人
(前年比 -36)
世帯数 9,585戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館編集委員会



心あたたまる 冬の行事 あれこれ

のつながりを感じます。それが、文化や伝統の力なのかもしれません。



ねらいどおり!(モルック)

一方のポッチャは、白玉に近づこうとせめぎあう赤玉と青玉の動きから目が離せず、皆一喜一憂し上がりました。



白に近いのはどっちだ!! (ポッチャ)

1月14日、南原公民館で「福祉の集い」が開かれました。町会長のあいさつのもと、30人ほどの参加者がピアノ伴奏に合わせて「母さんの歌」や「この道」など懐かしい歌を4曲歌いました。

心も体も温まる

南原の福祉の集い

心が温まったところで、今度は体力づくりサポーターによるストレッチで体をほぐし、いよいよニュースポーツの「モルック」と「ポッチャ」体験です。それぞれのコートに分かれてゲームが始まりました。モルックでは、4チームすべてが50点を出して終了するという南原ルールの展開に、歓喜と驚きの連続で大変盛り上がりしました。



北の外れに、飾り付け完了



数珠を回しながら、念仏を唱えます

日頃外に出ることの少ない高齢者が、リラックしながら交流を深め、心と体を温めることができました。南原町会の福祉の集いでした。

ています。いつの間にか体も温まり年齢を忘れて楽しむことができました。続いて、ティータイムの始まりです。お菓子を前に好きなドリンクをいただきながらテーブルごとに歓談していると、お楽しみのビンゴが始まりました。ハラハラドキドキしながら読み上げられる数字にカードとらめっこです。1等から5等までは、景品が大きな袋に入っていて中が見えません。それ以降はテーブルに並んだ景品から好きなものを選びます。



♪北の～酒場通りには～♪



みんなで一緒に 月・Y・M・C・A月

感動の人権コンサート「ケ・セラ」

1月25日、鎌田体育館で鎌田地区人権啓発推進協議会主催の楽団ケ・セラによる人権コンサートがありました。ケ・セラは障がい者が暮らしやすいまちづくりをめざしており、その一つが障がい者自らの音楽活動で、令和5年度松本市文化芸術功労賞を受賞している楽団です。

19名の団員がキーボード、ギター、ドラム、トロンボーンなどいろいろな楽器を駆使し、アンコールを含め13曲を演奏しました。童謡、映画音楽、ピアノ、映像音楽、ピアノ、30人余りが聴き惚れました。「NHKののど自慢なら鐘3つ」という声もあがるほどの歌うま団員の演奏も好評でした。

「寒い時期だから仕方ないけれど、もっと大勢の人に聴いてもらいたかった、ぜひまたやってほしい」との感想が寄せられるコンサートとなりました。



PC木曜会
ワード、エクセルなど

鎌田地区公民館で活動しているパソコン教室のサークルは4つあります。それぞれ週1回半日、和気あいあいと楽しくやっています。

PC金曜会 パソコンとスマホの基本操作ができる人を対象にパソコンとスマホを生活の中で活用する方法やデジカメの撮影方法などを学んでいます。

鎌田地区公民館 活動サークルの紹介⑤

パソコンサークル

どのオフィス全般を学んでいます。オフィスは奥が深いので10年以上続けている人もいます。

PC勉強会 ある程度のエクセル経験者を対象に、中級の内容を学んでいます。

PC楽々会 4月からエクセル初心者を対象に、基本の内容を実施すべく新規に仲間を募集中です。



ブロック→削除
こんな具合だよ



こけ玉づくりに挑戦!

2月22日に鎌田地区公民館で竹下光重さんを講師に迎え、苔玉づくり講座を開催しました。ビニール袋に入れて柔らかくなるまで揉んだ土の上に、今回は、先生が用意してくださった植物「ハクリユウ」と「ヤブコウジ」の苗を置いて球状になるように丸めます。それを平らに敷いた苔の上に置いて、苔で上手に包みながらギュッと握り、糸を巻き付けて固定したら完成です。植物の配置の仕方や土の丸め方によって、それぞれ表情の違う苔玉が出来上がりました。

参加者は、手入れの仕方や育て方を熱心に質問していました。ハクリユウもヤブコウジも、時期が来ると花が咲いて実がなる縁起の良い植物とのこと。長く大切に育てたいですね。

雑感

悪天候で列車が立ち往生したことがあった。そのときの車掌さんの対応が、災害時にも役立つとうと心に残った▼

まずは情報。停車の理由、再開のめど、代替運行など、知りたい情報が順次伝えられた。運転再開は2時間後と伝えられた後には、トイレや自販機的位置、運賃の払戻し方法など、新たな情報が案内された。再開時刻は遅れることもあると、最悪の場合も想定させる▼見ると車掌さんは、タブレット画面を何度も確認している。本部からオンラインで指示があるのだろう。組織としての連携が大切▼乗客への配慮も行き届いていた。一人一人に行き先を聞き、車内の温度調整をこまめに行う。何度も車掌室から出てきて「温度はいかがですか」と確認する心配り。そんな姿もあったからか、乗客同士で席をゆずり合う声が聞かれ、車内は穏やかな雰囲気だった▼松本駅に近づいた頃、最後の車内放送が流れた。「この列車は286分遅れまして…。5時間近い遅れを「分」で正確に伝えていたのも、仕事への矜持に違いない。」

(五十嵐一雄)